



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 スクロール
コード番号 8005 URL <https://www.scroll.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴見 知久
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営統括部長 (氏名) 杉本 泰宣 TEL 053-464-1114
四半期報告書提出予定日 2024年2月7日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	60,800	△1.6	4,934	△5.5	5,094	△1.8	3,459	△2.8
2023年3月期第3四半期	61,786	△0.9	5,224	△19.2	5,187	△20.3	3,558	△20.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3,770百万円 (7.0%) 2023年3月期第3四半期 3,523百万円 (△20.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	99.24	—
2023年3月期第3四半期	101.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	52,713	33,320	63.2
2023年3月期	53,200	31,997	60.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 33,320百万円 2023年3月期 31,997百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.00	—	38.00	48.00
2024年3月期	—	24.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	18.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,500	△1.9	4,800	△21.6	5,000	△19.2	3,400	△18.5	97.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	35,098,550株	2023年3月期	34,981,050株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	413,853株	2023年3月期	9,181株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	34,856,944株	2023年3月期3Q	34,916,492株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算説明資料はT D n e t で同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行され、行動制限や入国規制が解除されたことに伴い、人流が回復し、経済活動の正常化が進みました。一方、原材料や資源価格の高騰、為替相場の変動、不安定な国際情勢等の影響により、先行きは依然として不透明な状況となっております。小売業界におきましては、仕入価格や物流費をはじめとした各種コストの増加に加え、急激な物価上昇に伴う消費マインドの低下が懸念されており、厳しい経営環境となっております。通販業界におきましては、外出機会の増加に伴う実店舗への回帰が進んでいることに加えて、参入企業の増加に伴い業種・業態を越えた競争が激化しております。

このような環境のなか、当社グループは、「ダイレクトマーケティングソリューションカンパニー（DMSC）への転換」をテーマとする新たな中期経営計画「Direct Marketing Solution 2025」を策定いたしました。二大重点方針に「事業ポートフォリオの最適化による成長戦略の推進」「実効性のあるResponsibility経営の推進」を掲げ、ソリューション事業の成長加速に注力するとともに、環境・社会課題の解決に向けた取組みを推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高60,800百万円（前年同四半期比1.6%減）となりました。利益面におきましては、営業利益4,934百万円（同5.5%減）、経常利益5,094百万円（同1.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,459百万円（同2.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの売上高につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

また、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの記載順序を変更しております。

① ソリューション事業

ソリューション事業におきましては、通販ソリューションメニューのワンストップ提供企業として、EC・通販事業者のサポートを行っております。物流代行においては、全国通販3PL戦略を掲げ、新規顧客の獲得に向けた営業活動や新サービスメニューの開発、物流センターの効率改善等に取り組んでまいりました。また、決済代行においては、新規クライアントの稼働に伴い取扱高が堅調に推移し、マーケティングサポートにおいては、アフィリエイトサービスの取扱ジャンルの拡充などにより好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は18,253百万円（前年同四半期比15.9%増）となり、セグメント利益は825百万円（同53.9%増）となりました。

② 通販事業

通販事業におきましては、原材料や資源価格の高騰、円安が続く厳しいコスト環境のなか、販売価格のコントロールに取り組んだことに加え、商品供給率の改善により、受注が落ち込むなかでも前年同期を上回る売上総利益を確保いたしました。このほか、カタログ用紙使用量削減に向けた取組みによる販促費の上昇抑制や物流効率の改善など、事業効率の最大化に努めてまいりましたが、販売費及び一般管理費は前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、売上高は30,627百万円（同2.5%減）となり、セグメント利益は4,704百万円（同1.8%減）となりました。

③ eコマース事業

eコマース事業におきましては、外出機会の増加に伴う消費者の購買行動の変化により、非常に厳しい経営環境となっております。アウトドア・キャンプ用品におきましては、市場が縮小し需給バランスが悪化したことの影響により販売が不調となったほか、ブランド商材においても実店舗や公式店舗を含めた市場競争が激化したことにより受注数が落ち込むなど、厳しい結果となりました。

以上の結果、売上高は12,293百万円（同19.8%減）となり、セグメント損失は510百万円（前年同四半期はセグメント損失173百万円）となりました。

④ HBT事業

HBT事業におきましては、化粧品・健康食品ビジネスにおいて、新規商品の開発に努めてまいりました。また、旅行ビジネスにおいては、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う旅行需要の高まりを受け、業績は回復傾向で推移いたしました。

なお、HBT事業におきましては、経営効率化を図ることを目的とした組織再編に着手しております。

以上の結果、売上高は1,071百万円（前年同四半期比1.6%減）となり、セグメント損失は25百万円（前年同四半期はセグメント損失125百万円）となりました。

⑤ グループ管轄事業

グループ管轄事業におきましては、自社保有物流施設等の不動産賃貸、当社グループの物流オペレーション及び海外子会社の管理を行っております。物流オペレーションにおいては、東海・関西・関東エリアにおけるセンター運営の強化を進め、安定的な運営体制の構築に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は2,506百万円（前年同四半期比2.9%減）となり、セグメント利益は100百万円（同12.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は52,713百万円となり、前連結会計年度末に比べ486百万円減少いたしました。この主な要因は、現金及び預金の減少、売掛金の増加、未収入金の増加、棚卸資産の増加によるものです。

(負債)

負債は19,393百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,810百万円減少いたしました。この主な要因は、長期借入金の減少によるものです。

(純資産)

純資産は33,320百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,323百万円増加し、自己資本比率は63.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年10月27日の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました2024年3月期の通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2024年1月31日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,267	4,204
売掛金	11,377	13,608
棚卸資産	8,754	10,597
未収入金	4,870	6,913
その他	1,367	1,184
貸倒引当金	△487	△562
流動資産合計	36,149	35,945
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,499	6,198
土地	5,489	5,489
その他(純額)	940	837
有形固定資産合計	12,928	12,525
無形固定資産		
のれん	42	10
その他	728	711
無形固定資産合計	770	722
投資その他の資産		
その他	3,733	4,017
貸倒引当金	△381	△496
投資その他の資産合計	3,352	3,520
固定資産合計	17,051	16,768
資産合計	53,200	52,713
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,707	2,965
短期借入金	3,000	3,000
未払金	7,516	9,401
未払法人税等	1,453	766
引当金	515	392
その他	1,337	1,131
流動負債合計	16,529	17,658
固定負債		
長期借入金	3,000	—
引当金	54	53
退職給付に係る負債	1,456	1,518
その他	162	163
固定負債合計	4,673	1,735
負債合計	21,203	19,393

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,064	6,116
資本剰余金	6,993	7,045
利益剰余金	18,344	19,638
自己株式	△4	△391
株主資本合計	31,396	32,409
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	566	811
繰延ヘッジ損益	△13	39
為替換算調整勘定	47	60
その他の包括利益累計額合計	600	911
純資産合計	31,997	33,320
負債純資産合計	53,200	52,713

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	61,786	60,800
売上原価	38,708	36,022
売上総利益	23,077	24,777
販売費及び一般管理費	17,852	19,842
営業利益	5,224	4,934
営業外収益		
受取利息	13	11
受取配当金	47	52
債務勘定整理益	2	41
その他	45	83
営業外収益合計	109	188
営業外費用		
支払利息	15	11
為替差損	127	10
その他	2	6
営業外費用合計	145	29
経常利益	5,187	5,094
特別利益		
投資有価証券売却益	10	15
事業譲渡益	—	100
特別利益合計	10	115
特別損失		
固定資産除却損	9	15
投資有価証券売却損	2	—
特別損失合計	12	15
税金等調整前四半期純利益	5,186	5,193
法人税、住民税及び事業税	1,692	1,706
法人税等調整額	△64	27
法人税等合計	1,628	1,734
四半期純利益	3,558	3,459
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,558	3,459

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	3,558	3,459
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	141	244
繰延ヘッジ損益	△202	53
為替換算調整勘定	26	13
その他の包括利益合計	△35	310
四半期包括利益	3,523	3,770
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,523	3,770
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの記載順序を変更しております。これに伴い、前第3四半期連結累計期間の報告セグメントの記載順序を同様に變更しております。

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソリュー ション 事業	通販事業	eコマース 事業	HBT事業	グループ 管轄事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	14,009	31,403	15,277	1,079	15	61,786	—	61,786
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,745	2	42	9	2,565	4,366	△4,366	—
計	15,755	31,406	15,319	1,089	2,581	66,152	△4,366	61,786
セグメント利益 又は損失(△)	536	4,790	△173	△125	114	5,142	45	5,187

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、未実現利益等45百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソリュー ション 事業	通販事業	eコマース 事業	HBT事業	グループ 管轄事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	16,888	30,627	12,204	1,063	16	60,800	—	60,800
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,365	0	88	8	2,490	3,953	△3,953	—
計	18,253	30,627	12,293	1,071	2,506	64,753	△3,953	60,800
セグメント利益 又は損失(△)	825	4,704	△510	△25	100	5,094	△0	5,094

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、未実現利益等△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。